

公益社団法人京都モデルフォレスト協会 平成 27 年度事業計画

<重点方針>

1 平成 28 年秋に京都府で開催される全国育樹祭の開催機運を盛り上げるため、関連行事を開催するとともに、緑の少年団の活動促進を図ります。

- (1) 第 40 回全国育樹祭の開催機運の盛り上げを目的に関連行事の開催などを通じてその趣旨を広く府民に PR します。(新規)
- (2) 「府民育樹祭 (モデルフォレスト DAY)」において、交流イベントや森づくり体験等により「全国育樹祭」を PR します。(新規)
- (3) 府内の緑の少年団が一堂に会する「京都緑のこどもサミット」を開催するとともに、緑の少年団の活動支援等に取り組みます。(継続・見直し)
- (4) 毎年開催の緑化運動ポスターコンクールと併せて「全国育樹祭ポスター原画」を募集します。(継続)

2 京都モデルフォレスト運動の 10 周年にあたる平成 28 年に向けて、モデルフォレスト運動の取り組みを一層推進するとともに、協会設立 10 周年記念行事について検討を開始します。

- (1) モデルフォレスト協会設立 10 周年行事等を検討するため、協会内に「京都モデルフォレスト協会 10 周年記念事業検討会」を設置し、平成 28 年度の 10 周年記念行事の検討を行います。(新規)
- (2) 林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策」事業を活用し、地域と一体となった持続的な森林の整備活動や森林資源の利活用を図る取組を支援します。(継続)
- (3) 「モデルフォレスト運動推進大会」の開催など、運動に参画する企業や団体・会員等による情報交換と交流により、活動の拡大と高度化を推進します。(継続)
- (4) 森林ボランティア団体や京都府林業大学校と連携し、自主的な森林保全活動を行えるモデルフォレストリーダー等森林づくりに係る人材育成を図ります。
(継続)
- (5) 協会ホームページ、メールマガジン等を活用し、協会や森林づくり団体等が行う森林づくり活動等についてのタイムリーな情報発信を強化し、モデルフォレスト運動への府民参加の裾野の拡大に努めます。(継続)

3 関係団体や協会会員の協力を得て、緑の募金や森林づくりへの寄付金等を拡大する取組を強化し、森林整備、地域緑化、環境教育、森林ボランティア活動等への支援を充実します。

1 全国育樹祭の機運醸成に向けての取組

(1) 全国育樹祭関連行事の開催

平成 28 年の「第 40 回全国育樹祭」の京都府開催に向けて関連行事を実施、森づくり活動をさらに活発化して、機運を高めます。

「新緑祭 in スチールの森京都」を開催

緑に親しみ森林への理解を深めていただくため、京都府と共催で「新緑祭 in スチールの森京都」を開催します。

「モデルフォレストDAY」における府民全体での取組を拡大

森づくり一斉活動期間「モデルフォレスト DAY」において、交流イベントや森づくり体験等を実施することにより「全国育樹祭」を PR します。(新規)

全国育樹祭・緑化運動・愛鳥週間ポスターコンクールの実施

府内の小・中・高等学校の生徒を対象に「全国育樹祭」のポスター使用原画募集とあわせ、緑化運動ポスターコンクールを開催します。優秀作品については展示を行い、府民への緑化思想の啓発に活用します。

(2) 森林環境教育等を通じた次世代を担う子どもたちの育成

「京都緑の子どもサミット」の開催

次世代を担う子どもたちの森林への理解を一層広めるため、府内の緑の少年団が一堂に会する「京都緑のこどもサミット」を開催します。

緑の少年団の活動を支援

緑の少年団の活動促進等の支援に取り組みます。

2. 京都モデルフォレスト運動 10 周年に向けたすそ野の拡大

モデルフォレスト運動 10 周年に向けた取り組みとして、府民参画の拡大を目指して各種取組を実施します。

(1) 京都モデルフォレスト運動 10 周年事業検討委員会を設置

京都モデルフォレスト協会設立 10 周年行事等を検討するため、協会内に「京都モデルフォレスト協会 10 周年記念事業検討会」を設置し、平成 28 年度の 10 周年記念行事の検討を行います。

(2) 林野庁「森林・山村多面的機能発揮対策」事業により地域の森林づくりの取組を支援

林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策」事業の交付金の管理、活動組織の支援を行う「地域協議会」の事務局を担うことにより、地域の活動団体が実施する里山林等の森林の保全管理や、森林環境教育等の取組を支援することにより、モデルフォレスト運動の更なる拡大を図ります。また、参加団体の情報交換等の場を設け、活動の自立に向けた取り組みを支援します。

(3) モデルフォレスト運動推進大会の開催など交流促進により森林づくりを支援

モデルフォレスト運動に参画する企業、団体、会員等による情報交換と交流のための「モデルフォレスト運動推進大会」の開催などにより、人や情報のネットワークを構築、活動の拡大と高度化を推進します。

企業等の参加促進と交流による活動支援

協会が地域の森林と府民や企業等をつなぐパイプ役となって、企業等に森林づくり活動への参加を呼びかけるとともに、地域の森林関係団体や NPO、市町村、京都府等と連携して、地域ぐるみで運動を広げ支える取組を推進します。

森林づくり基金による地域の森林づくりの取組支援

モデルフォレスト運動の趣旨に賛同した企業や企業等参加の森林づくりに参画する企業等からの寄付金をもとに、地域の森林づくりの計画に基づき活動を行う森林づくり実行組織等に対して助成金を交付します。助成金は、森林組合、ボランティア団体等が実施する植樹や除間伐、歩道整備、活動場所での木材利用、環境学習等の実施に係る経費に使用し、地域の森林づくりの取組を広く PR し、取組の輪を一層広げます。

国際的なネットワークを活用した取り組みの展開

- ・ 英文ニュースを発行し、国際モデルフォレストネットワーク(IMFN)の一員として、京都の取組を京都から世界に向けて情報発信します。
- ・ カナダ・ケベック州やケベック木材製品輸出振興会等との交流を活発化させます。

(4) 森林ボランティアの養成、支援

森林整備体験教室等の開催

京都府や市町村、ボランティア団体等の取組との連携を図りながら、間伐等の森林整備体験教室や森林体験ツアー等を開催することにより、府民の森林の果たす様々な役割についての理解を高めるとともに森林づくり活動への参加の促進を図ります。

森林ボランティアの養成など人材育成を通じた森林づくりの促進

- ・ 京都府立林業大学校研修科と連携（研修科「森林保全研修」）して、モデルフォレスト運動を継続的な運動として牽引する森林ボランティアリーダーを育成します。また、研修終了者に対して「モデルフォレストリーダー」として認定します。
- ・ 森林ボランティア団体をネットワーク化し、活動の促進を図るため、京都府等と連携した森林ボランティア団体の交流会の開催や広報媒体により団体の情報交換、情報発信を促進します。

大学等との連携

- ・ 大学等と連携して、学生等の環境学習や地域貢献活動を推進します。
- ・ 大学や試験研究機関の研究成果や知見をモデルフォレスト運動の森林づくりや木材利用の取組に活かします。

森の人材バンクの活用

- ・ 森林インストラクター等の資格者等を登録する森の人材バンクを活用し、森林ボランティア団体や学校、企業等の希望に応じて指導者を紹介・斡旋します。
- ・ 企業、学校、団体等の要望に応じて、森林づくりへの理解を深めるための出前環境学習講座等を実施します。

(5) 普及啓発や情報発信

紙面、インターネット等による情報発信

- ・ 協会広報誌「以森伝心」の充実や協会ホームページ、フェイスブック、メールニュース等を活用し、協会や森林づくり団体等が行う森林づくり活動等についてのタイムリーな情報発信を行い、モデルフォレスト運動への府民参加の裾野の拡大を図ります。

森林吸収量認証制度を活用した普及啓発

- ・ 森林吸収量の認証機関として、企業等の森林ボランティア活動や森林づくりへの寄付等の取組を森林吸収量認証等により評価・PRし、企業やNPOの参加を促進します。

3 緑の募金の推進

募金活動を通じて森林をはじめとする緑の重要性等を啓発するとともに、緑豊かな森林づくりや森林と触れあう取組への支援等を推進します。

(1) 緑の募金活動

- ・ 協会が実施する行事等での募金活動や、モデルフォレスト運動に参画いただく企業や地方公共団体との連携を強め募金活動を実施するとともに、協力いただいた募金の活用内容をホームページや印刷物等で積極的にPRすることにより募金額の拡大を図ります。
- ・ イベントへの出展や関係団体と連携した街頭啓発活動で、緑の募金の普及啓発に努めます。

	募金強化期間	募金目標額	26年度実績額
春期	3月 1日から 5月 31日	13,000千円	11,739千円
秋期	9月 1日から 10月 31日	5,000千円	4,200千円
計		18,000千円	15,939千円

(2) 緑の募金による事業

森林整備

- ・ ボーイスカウトやガールスカウト等が行う森林活動に必要な資材の購入等について助成します。

緑化推進

ア まちなかの森づくり

森や緑などが少ない街中のオープンスペース等における植樹を通して、府民等の森や緑の大切さへの認識を広めるため、市町村、学校、住民組織等による植樹活動を支援します。

イ 地域緑化

府内自生種で、自然環境下で減少している樹木の植樹等、府内の各地域の自然環境保全に役立つ緑化活動を進めていくため、専門家等の協力を得て、緑化方法の検討を行います。

ウ 学校緑化・森林環境学習推進

次代を担う児童・生徒に、森林や緑の大切さを理解してもらうことを目的に、学校緑化・森林環境学習実施経費を助成します。

エ 緑の少年団等の育成

緑の少年団活動を支援するため、緑の少年団が行う学習活動・野外活動・奉仕活動に係る経費を助成します。

地域での取組支援（緑の募金交付金）

地域の緑の募金協力団体が、それぞれの地域で森林整備や植樹等を通じて緑化思想の普及啓発を図るための経費として、緑の募金の実績から緑の募金活動のために要する資材費を差し引いた金額の75%を交付金として支出するとともに、担当者会議等により相互の情報交換や積極的な交流を進めます。